

一般質問 Q & A



共に創る掛川
富田まゆみ

健康増進プログラムの体系化と情報発信は

Q 健康保険・介護保険の負担を減らし、健康寿命を延伸するための健康増進事業を体系化し、庁内事業の整理・見直しが必要。市民へのわかりやすい情報発信として健康事業年間カレンダー作成の考えはないか伺う。

効果的な事業を検証

A 平成27年度に健康寿命のさらなる延伸と、お達者度の県下一を目指し、「かけがわ生涯お達者市民推進プロジェクト」を立ち上げ、関係する各課の事業を6つの分野に整理しました。さらに、関係団体、企業、学校等の代表者で組織するプロジェクト委員会では、各分野の事業を効果的に遂行するため、事業の検証をしています。

年間カレンダーは、市民にとって情報が理解しやすいといった利点がありますので検

討をしていきます。

市民活動としての健康講座を

Q 他市で行われている参加人数の多い健康講座を指導するのはボランティアの市民で自主運営となっている。こうした活動は、市民活動の一環としてすすめていくことが大切だと考えるがいかがか。

市民主体の健康づくりを推進

A 市民が主体となって健康づくりに取り組むことは、今後もさらに進めていく必要があります。

多くの人が参加していただけのような工夫を、市民のみなさんやまちづくり協議会のみなさん、保健活動推進委員、健康づくり食生活推進員との協働により、取り組んでいきたいと考えています。



東大坂研修センターにて行われた健康体操



至誠の会
鷲山喜久

障がい児・者の歯科外来診療の来年度以後は

Q 中東遠総合医療センターで障がい児・者の歯科治療を臨時的に本年は行っている。開業医で治療をしていて、急変する時もある。安心して治療ができるよう来年度以後を伺う。

関係機関と中東遠5市1町で検討

A 理想的な姿は、専門的に診療する機関があるべきと考えています。そのため、県や歯科医師会など、多くの関係機関との協議が必要です。

現在実施している障がい者歯科診療を継続できるように県、中東遠総合医療センター、歯科医師会、中東遠5市1町で検討していきます。

小学生に、「二宮金次郎」の歌を

Q 本年度から小学校で道徳が今までより進んで教科化された。市内の小学校3年生で二宮金次郎のわらじ作りを勉強している。改めて報徳やこの歌詞について考えて、小学生にこの歌の歌唱指導する考えはないか。

各校で教育計画にあわせて柔軟に活用

A 現在、「報徳の教え」を広める方法の一つとして、「二宮金次郎」の歌を様々な形で活用している学校がありますので、それらを紹介し、各校が教育計画に合わせて柔軟に活用できるようにしていきたいと考えています。



報徳社の二宮金次郎像